

科目名 Course Name	FP 演習 I FP Exercise I			ナンバリング No.	C1-001		
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	水谷 恒夫						
連絡方法	非常勤講師室又は C-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	個人の家庭のライフプランをベースに、貯蓄や投資、保険、年金、不動産、税金、相続などを包括的にアドバイスする専門家＝ファイナンシャルプランナーの育成を目指す。 専門家として必須の国家資格である FP 技能士 3 級検定試験の合格を目指す。						
授業の方法	講義形式で行う。問題演習が中心となる。問題集や過去問を使用するが、テキストで照らし合わせを行うので、同時にテキストも持参すること。						
学習成果	L01	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険、タックスプランニング、不動産に関する基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L02	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険、タックスプランニング、不動産に関する基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	問題演習は模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	①一発合格！FP 技能士 3 級 完全攻略実践問題集 22-23 前田信弘著(ナツメ社)						
履修上の留意点やルール等	C-Learning で出席入力を行いますので、遅刻しないように教室に集まること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 板書を記入するノートと電卓(12 桁推奨)を用意すること。 授業中スマートフォン等は使用しないこと。						
担当教員の実務経験	職種:①証券会社勤務経験 職歴:約 23 年 ②FP 事務所経営 職歴:約 14 年						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	板書をノートに記入し、スマートフォン等は使用しないこと。				
レポート/作品					
発表					
小テスト	第 10 回目をめどに小テストを行う。評価割合は 50%とする。評価割合は 50%とする。	25	25		
試験	評価割合は 50%とする。	25	25		
その他	S の条件は合計で 90%以上である。				
<b>合計</b>		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(1)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
2	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(2)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
3	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(3)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
4	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(4)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
5	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(5)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
6	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(6)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
7	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(7)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
8	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(8)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
9	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(9)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
10	授業内容	金融資産運用設計、タックスプランニング 問題演習(10)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
11	授業内容	ライフプランニングと資金計画、不動産 問題演習(1)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
12	授業内容	ライフプランニングと資金計画、不動産 問題演習(2)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
13	授業内容	ライフプランニングと資金計画、不動産 問題演習(3)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
14	授業内容	ライフプランニングと資金計画、不動産 問題演習(4)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
15	授業内容	ライフプランニングと資金計画、不動産 問題演習(5)
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認